

初めて交信するビギナーのために

アマチュア無線の交信入門

JR3QHQ 田中 透 Toru Tanaka

初めのうちは交信のときに何を言っているかわからないのが普通です。この章では、どのようにして交信するのかを説明します。

4-1 交信を始める前に

国家試験に無事合格して免許証の申請、そして無線局の申請と難関をクリアしてやっと自分のコールサインをもらったなら、次は念願のアマチュア無線局との交信が待っています。

たぶんビギナーの皆さんは、ここでも戸惑いを持っていると思います。筆者も初めてのときは、どのようにしてほかのアマチュア無線家と話をすればよいのかまったくわかりませんでした。

筆者の場合は、近くにアマチュア無線家があったので、その人にいろいろ聞けましたが、世の中そんな好都合にはできていません。そこで、ここでは近くに住むアマチュア無線家の代わりにアマチュア無線の交信の方法を説明します。

4-1-1 ワッチから始めよう

アマチュア無線は、まずワッチから始まります(無線でワッチとは受信することだが、これは船舶などでよく使われている言葉で「見張る」という意味)。

ワッチとはそのバンド(周波数帯)でどのような地域から電波が届いているか、じっくり受信してバンド・コンディションを確認することです。けれどもビギナーの皆さんは、それと同時にどんな風に交信しているのかを注意深く聞くことが大事です。

トランシーバのダイヤルを回して、CQを出している局や交信している局のようすをよく聞いてください。初めて聞いたなら、たぶん専門用語(Q符号・略語)などができてきざっぱりわからないと思いますが、専門用語などは聞いているうちにだんだん理解できてきます。また本章でも説明しますので(後述)、どのような言葉が使われているかだけ覚えておいてください。

4-1-2 普段の話し方でOK

このワッチで耳にした先輩アマチュア無線家の話し方を真似ていけばよいのですが、アマチュア無線家もいろいろな人がいます。中には必要以上の丁寧語を使う人もいますが、そんな必要はありません。専門用語などは使いますが、無線だからといって特別な喋り方があるわけではないので、普段使っている普通の話し方で大丈夫なのです。大事なことは、相手の立場に立ってわかりやすいように話をすることです。